

Next 担い手確保対策事業

農村地域の課題

- ・ 中期的視点から魅力ある仕事が存在すること
- ・ 地域に子育て世代が流入し、地域の担い手として定着すること

事業内容

- ・ 将来の担い手を確保する施策の実施に向け、市町村と県が連携して、中期的な視点から検討を行う。

事業スキーム

- ・ 市町村から構想を募集し、総合的な評価の上、県が参画する構想を選定
- ・ 市町村は運営会議を設置し、県及び当該市町村が互いが持つ情報や、知見・人財などの資源を持ち寄って実施スキームや事業内容を調査研究
- ・ 財政支援期間は3年以内、初年度は市町村構想の事業化に向けた事前調査等に係る経費を支援（1事業当たり100万円(10/10)を上限）
- ・ 2・3年度目は、企画した先駆的事业や構想実現のために活用する国庫補助事業の補助対象外経費等を支援（1事業当たり500万円(1/2)）



想定される構想のテーマ

人口減少対策等に資する、県と市町村の連携が必要な農林水産業を切り口としたテーマを選定

- 6次産業化や観光等との連携、農山漁村発イノベーションの推進
- 地域資源やデジタル技術等を活用した地域づくりや産業振興
- 担い手の確保・育成と農地集積による受け皿確保
- 温室効果ガスの削減、生物多様性の保全に配慮した技術の実践



取組の効果

- ・ 農村地域での魅力ある仕事の創出・確保
- ・ 子育て世代の流入による地域の担い手確保
- ・ 従事者の減少にも耐えうる、農林水産業生産活動の維持
- ・ 多様な人材を受け入れることによる農村地域の維持

